臨時議会

平成二十二年第一回臨時議会は、二月十日招集されました。

案件の大要は次のとおりです。

条例案件

◆吉野町野外活動拠点施設設置条例を制定することについて　（可決）

旧中荘小学校を野外活動拠点施設として活用し、豊かな自然環境の中で、体験活動を通して自主性や協調性を培い、青少年の健全な育成を図るため、新たに施設の設置条例を制定するものです。

予算案件

◆平成二十一年度吉野町一般会計補正予算（案）第九号について　（可決）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ九千六百八十七万七千円を追加し、総額五十一億九千二百九万三千円となりました。

主に経済危機対策臨時交付金の残額、きめ細やかな臨時交付金を活用し、老人福祉センターの給湯ボイラー等の改修、みどりの村環境整備、吉野見附三茶屋施設改修、林道舗装工事、町営住宅排水管改修、幼稚園等の耐震診断委託、吉野運動公園施設改修等の事業に充当します。

◆平成二十一年度吉野町水道事業特別会計補正予算（案）第二号について　（可決）

現在借り入れている企業債を繰上償還し、低い利率の企業債に借り換えるため、資本的収入として、企業債七千七百四十万円を増額、資本的支出として、企業債償還金七千七百八十二万円を増額するものです。

◆平成二十一年度吉野町国民健康保険吉野病院事業特別会計補正予算（案）第五号について　（可決）

資本的支出として、建設改良費の診療録管理室改築工事費三百十五万円を減額、血液の酸素濃度測定器購入費十五万円を増額し、これに伴い資本的収入として、一般会計からの繰入金を三百万円減額するものです。

その他の案件

◆専決処分報告　（受理）

・消防車の交通事故に係る損害賠償額を定め和解することについて　（一件）

農林水産省未来の農業の姿のアイデア 杉本光夢さん（吉野北小学校）最優秀賞 受賞

杉本光夢さん

土の質のチェッカー

農林水産省「第3回未来の農業の姿のアイデア募集」で、吉野北小学校杉本光夢さんが最優秀賞を受賞しました。

この「未来の農業の姿のアイデア募集」は、農業の将来ビジョンを検討するにあたり、全国の小中学生を対象に、想像力豊かで柔軟な発想の夢のあるアイデアを募集するというものです。

杉本さんは、小さい頃から祖父母の畑仕事に同行するのが好きで、野菜作りに慣れ親しんできました。また、絵を描くことが好きなお姉さんの影響もあり、杉本さん自身もよく絵を描いていたようです。これらの経験をもとにして描かれたのが「土の質のチェッカー」です。

将来、「土の質のチェッカー」が実現して、農業が発展するといいですね。

町内 小・中学生から床ずれ予防エアーマット贈呈

2月22日、吉野小学校、吉野北小学校、吉野中学校の児童・生徒ら6人が吉野病院を訪れ、床ずれ予防エアーマットを贈りました。

お年玉募金は、町内2つの小学校と吉野中学校の皆さんが、年明けの3学期に学校の玄関などに募金箱を置き、57,500円が集められました。

この集められたお金で、身近な社会福祉に役立つ物を生徒たち自身が考え、この目的に賛同してくれたメーカーの協力を得て、床ずれ予防エアーマットを贈ることになりました。

床ずれ予防エアーマットを受け取った吉野病院國松院長は、「大変感謝しています。皆さんの気持ちのこもったこの床ずれ予防エアーマットを大切に使わせていただきます。」とお礼を述べました。

児童・生徒の皆さん、これからも助け合いの気持ちを忘れないでください。